

▶子宮鏡下選択的卵管通水法

1) 子宮鏡下選択的卵管通水法とは

色素液を卵管に注入して卵管の疎通性を調べる検査です。

卵管口に直接細いカテーテルを入れて色素液を注入するため、卵管通水検査よりも正確に卵管の疎通性を評価することができます。

2) 子宮鏡下選択的卵管通水法の対象となる方

- ・子宮卵管造影検査にて近位部閉塞と診断された方
- ・造影剤のアレルギーがあるため卵管造影検査を実施できない方

3) 子宮鏡下選択的卵管通水の方法

- ①細いファイバースコープで子宮内を観察します
- ②左右の卵管口から専用の細いカテーテルを挿入します
- ③希釈した色素液を注入し卵管の通過性を確認します

4) 子宮鏡検査のリスク

- ・術後に痛みを感じることがあります
※ボルタレン座薬やロピオニン注射で対処いたします
- ・術後、一時的に尿の色が色素液の色（青）になりますが問題はありません
- ・この検査では、実際には疎通性があるにもかかわらず、疎通性なしと判断してしまう偽陰性の例が少数ながら確認できるため、診断は絶対ではない点

5) 検査結果について

- ・色素液を 10ml 注入した時に逆流を認めない場合に卵管疎通性があると判断します
- ・疎通性が確認できなかった場合は FT 手術または体外受精による治療を考慮します

6) 価格

価格表をご確認ください

▶卵管通水検査

卵管通水検査	(自費) ¥3,300 (カテーテル代含)
子宮鏡下選択的卵管通水検査	(自費) ¥8,800